



《笑顔でチャレンジ！》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 12 号 (12月号)

平成30年12月21日発行

(回覧1月15日号)

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



お疲れ様でした6年生！



これからよろしくね！新メンバー(5～3年生)！

『笑顔でチャレンジ！(Challenge with a Smile)』

校長 岩下 伸子

授業日数80日の2学期が、本日、終了しました。

《がんばる姿は美しい！》と改めて感じた2学期でした。たくさんの感動がありました。

まずは、メンバーの思いがこもったタスキをつなげた《心班駅伝》…精一杯走り、精一杯応援していた子どもたち。走る辛さよりも、タスキをつなげる喜びを味わいながら、一生懸命走る姿は立派でした。

次は《ダンス》…1学期から6年生が準備を始め、2学期から本格的に練習を始めたダンス。振付を覚え、フォーメーションを工夫。どうやったら自分たちの班の良さが表現できるかと話し合いながら練習を進めたダンス。ダンスフェスティバル当日は、練習の成果爆発！どの班もポップに弾けていました。

《金管引継ぎ式》…文化祭終了後、短期集中で、金管引継ぎ式を迎えた3～6年生の子どもたち。限られた時間の中で、集中し、観客に感動を与えた演奏演技。下黒川小の子どもたちの【底力】を感じました。指導にあたった先生方も立派！

たった5人の1年生。ボランティアを募りながら、ヤギの《あおぞら君》のお世話をやり遂げました。そして、11月26日、無事《あおぞら君》を卒業させました。

まだまだたくさんの感動があった2学期。

3学期もステキな笑顔と感動があふれる、そんな学期になるといいなと、期待しています。



「金管引継ぎ式」… 「お願いします！」 「がんばります！」



6年生最後の演奏！
「聖者の行進」 さすが6年生！
全員の息がピッタリと合い、ピリリとしたステキな、演奏でした。

新メンバー「パーカッション隊」
リズムを刻む重要なパートです。短い練習時間で、正確にリズムが刻めるようにがんばりました。



6年生から指揮杖や楽器を引き継いだ新メンバー。伝統を引き継ぐ重さを感じながらも、堂々と「こんにちはトランペット」を演奏しました。
3年生の子どもたちはカラーガードを引き継ぎ、背筋もピンと伸び、堂々としていて、とても大人っぽく見えました。

来年度の運動会の演奏演技が楽しみです！ 保護者の皆様・地域の皆様、今後ともご声援をお願いします。



新メンバーの「こんにちはトランペット」に合わせて退場する6年生は、まるで、卒業式の退場のような雰囲気がありました。これから1つ1つの活動が、6年生から在校生へと引継がれていくのですね。

4年生担任 寺岡教諭の「週案」コメントです。紹介します。担任と子どもたち、共がんばる姿が素晴らしいです。(11月29日は「外国語活動」の市教委訪問授業公開を行いました。)

今週は子どものステキな姿がいつも以上に見られた週だった。まず、金管について、だんだん吹けるようになって楽しくなってきた子たちが休み時間に声を掛けて自主練を行っていた。最初は人数が少なかったが、だんだんと増えていき、全員でやっていることも多くなってきた。「金管が楽しい！」と思っている子がとても多く、そのため上達も早いと感じる。私もよく練習に誘われて一緒に行くが、音が出るのがやっとなので追いつけるようにしていきたい。次に、外国語活動について、彼らの良さが詰まった授業だったように思う。真剣に、楽しみながら取り組んでいる様子が見られた。方向を一つにそろえると大きなパワーを発揮してくれる子たちなのでしっかりと方向付けをしていきたい。

各学年の活動(生活科・総合)の紹介

3年「目指せ黒岩・黒川・下黒川博士!!」

1学期は学校周辺のカントリーエレベーターや農村公園に行き、見学したり地域の方にお話を聞いたりしました。「大きい!」「お米って重たいんだなあ。」などと、いつも見ているものでもみんなで見学すると、新たな発見がたくさんありました。

2学期は1学期よりも範囲を広げ、小野城跡や楞厳寺、米山古道に探検に行きました。小野城跡では、跡地の広さを感じたり、ロープや木につかまって登ったりしながら自然を楽しみました。楞厳寺では、木魚をたたいたり、お香を焚いたり、普段はできないたくさんの体験をしました。また、柿崎景家に関係のあるお寺だと分かった、歴史的な面からも地域への興味を広げました。どの探検でも、地域の方にお話を伺うことができ、疑問に思っていることや知りたいことを積極的に地域の方に聞きに行き、新しい知識に目をキラキラさせました。

特に子どもたちの印象に残っているのは、2学期後半に行った『柿崎を食べる会』の皆さんが育てているヨコヤマニンジンの収穫です。ヨコヤマニンジンとは細長く味の濃い特徴のあるニンジンで、収穫時や学校に帰ってからの味見の時に、「長い!」「甘い!」と実際にその特徴を感じていました。また、収穫体験により、「お手伝いをして役に立てた!」と、地域と関わった達成感も味わうことができました。

3学期はこれまで探検した場所をまとめて、地域のPRのための動画やパンフレットを作成する予定です。(担任 宮田 菜)

4年生「柿崎川を探検しよう! かがやき調査隊」

総合のテーマ『見つけよう・考えよう・伝えよう ～柿崎川を探検しよう! かがやき調査隊～』をもとに、1学期は柿崎川の中流・上流・河口で調査活動を行ってきました。生き物調査や水質検査をする中で、子どもたちは柿崎川の水のきれいさや生き物の種類の多さ、自然の豊かさに気付いていきました。しかし、柿崎川によさだけでなく、柿崎川にはゴミが多いことにも目を向け始めました。「柿崎川の環境をよくしたい」という思いが生まれてきました。

2学期には社会科と関連して柿崎川ダムや浄水場へ見学に行きました。ダムはただ水が溜まっているだけだと思っていた子どもたち。私たちの生活に密接に関係していることを知り、驚いていました。

浄水場見学では学校や家庭に運ばれてくる水になるまでにかかなり多くの時間と手間がかかっていることを学習しました。見学後、子どもたちは普段何気なく使っていた水をもっと大切にしなければならないという思いをもちました。

そこで浄水場やダムについて学習したことを新聞にまとめたり、環境標語を作ったりして水に対する意識を高めました。また、「僕たちだけでなく地域にも広げていきたい」という声が広がり、地域の方が改めて水の使い方を考えられるよう、文化祭でも新聞や標語を掲示しました。

3学期は柿崎川の水が使われている特産品など、柿崎川の水のよいところを調査していく予定です。(担任 寺岡 嵩智)





《明日から冬休み！》



年末年始を控え、あわただしく、忙しい毎日かと思えます。しかし、土日祝日も含め17日間の冬休みです。お子さんと一緒に『自分を大切にすること』『命の大切さ』『どれだけ家族はあなたのことを愛しているか』などについて語り合っていただくとありがたいです。

そして、新年を迎えるにあたり、夢や希望、新年の抱負などについてもご家族で語り合っていただくとありがたいです。よろしく願いいたします。

《子どもと夢》

文科省では、家庭教育を応援するために様々な情報を提供しています。「家庭教育手帳」も乳幼児編、小学生(低・中学年)編、小学生(高学年)~中学生編がHPで公開されています。

以下、小学生(低・中学年)編、9章「個性と夢」についてご紹介します(抜粋)。



《人は夢を育て、夢は人を育てる》

○夢をもつと、人は強くなる。

今の子どもは冷めていて、将来の夢や希望ももたず、難しい目標はチャレンジする前にあきらめてしまうと言われてしています。しかし、子どもは子どもなりに夢や希望をもっています。どんなに小さく、どんなにヘンに思えるものでも、その夢や希望に耳を傾けましょう。

また、自分の経験や、長い間にわたって苦労して夢を実現した人々の生き方などを折にふれて話しましょう。そして人生の目標は汗を流し、失敗を重ねながら達成していくものだ、と、励まし、あたたかく見守っていきましょう。

親は子どもの応援団です。

○自分で考え自分で行動できる人に育てほしいなら。

子どもの進む先の障害物を先回りしてどけたり(過保護)、一挙一動にあれこれ指示をしたり(過干渉)するのではなく、子どもが好きなものを見つけるまで待ち、できるだけ子どもの力を信頼し、それを見守り、力づけましょう。あれこれしないで見守ることは、モノを買ってやったり何かをしてやったりするより、ずっと難しく愛情がいることです。

また、親は自分が子どものために考えたことは正しいと思いがちですが、必ずしもそうとは限りません。自分の思いや考えを押しつけるのではなく、「あなたはどう思う？」と、まず子どもの言い分をじっくり聞き、子どもの気持ちをしっかり受け止めてから、「自分はこう思うんだが」と、一緒に考え一緒に学んでいく姿勢が大切です。

子どもが自分で考え、勇気をもって行動し、達成感を味わう、または失敗から学び強くなるチャンスなどを子どもから奪わないように気をつけましょう。

○同じ子どもなんて一人もいない。

テストで何点とったか、どれだけ何々ができるかなどと、他の子どもや平均値との比較に目を奪われ、自分の期待から子どもを評価することは、子どもたち一人一人の個性や成長のために良くありません。そういう親の下では、子どもまで相対的な順位ばかりを気にするようになったり、自信をなくしたりしがちです。親は、比較して不安になるのではなく、どんなときも子どもの個性と成長を信じ、ゆっくりゆっくり育てたいものです。

○ダメなところを責めるより、良いところを増やしていこう。

子どもに大切なのは、自信と、自分を大切にできる力です。それは植物の根のようなもので、深く広く張るほど大きな実りをもたらします。表面的なことにとらわれることなく、その子が大きく育つことを信じて心に豊かな水や栄養を与えましょう。

そして、その水や栄養となるのが、子どもの良いところを見だし、ほめることです。叱るべきときは叱り、ほめるべきときはきちんとほめる。また親の思い通りの方向ややり方で子どもが行動しなかったとしても、その子なりの工夫や考えは見守り、認めることも大切です。発達に応じて、子どもに任せる部分を次第に増やしていくことで、子どもは自らの成長を実感し、自信をもつことができます。



健康で安全、楽しい冬休みをお過ごしください。
3学期始業式は、1月8日(火)です！

